

「たかまつしんきんの森」で第2回森づくり活動を実施

企業と協働で森づくりを進める「フォレストマッチング推進事業」で、3月14日（土）、高松信用金庫職員と家族の皆さん53人、信金中央金庫職員5人、四国地区信用金庫協会2人の60人が、今回の植林のために2月14日に竹の伐採をした高松市塩江町の竹林0.15haに、コナラ300本の植林を行いました。



<植林を終えて、参加者みんなで記念写真>

前夜からの雨が止まず、開始予定時間には、あられまじりの冷たい雨が降り始め、小雨になるのを待って植林を開始しました。

参加者は、県や塩江町森林組合、地元 NPO しおのえの方々から、苗木の植え方の指導を受けて、竹の根を切りながらの作業に苦勞しながら、1本1本丁寧に植え、2時間ほどで、活動を終了しました。



<伐採した竹の間に植林>



<小雨の中の作業に悪戦苦勞する参加者>



<林道沿いの急斜面に植林>

植え終わった頃には雨も上がり、山の美味しい空気を胸いっぱい吸いながら、山を降りました。参加者は、「植えた苗木が成長し、ドングリを拾いに來るのが楽しみ」と話していました。

高松信用金庫では、今年から5年間、竹を伐採し、広葉樹を植林することになっています。将来、広葉樹の森が広がっていくことでしょう。